

令和 8 年度神栖市地域医療体制に係る意見交換会 サマリー

- 1 日時・場所 令和 8 年 5 月 13 日（水） 19：00～20：30
神栖市保健・福祉会館 2 階 研修室
- 2 出席者 47 人 ※別添名簿のとおり
(医療関係者 24 人、消防 2 人、随行者 8 人、神栖市 13 人)

3 会議結果

木内敏之神栖市長挨拶の後、茨城県立中央病院永井名誉院長が座長として議事を進行。事務局からの報告について、事項 1 を地域医療推進課、事項 2 を長寿介護課、健康増進課が説明。その後、意見交換を行った。

(1) 報告

ア 事項 1：市内の医療の現状と取組状況について（説明／吉川課長、胡田主幹）

項 目	内 容
データから見る医療情勢／国、県の医療政策等の動向について	○主な死因および死亡比は、令和 6 年以降、徐々に減少傾向にある。 ○診療所の継承や新規開設が行われない場合、2040 年には医科・歯科ともに、診療所数が現在の約 61%まで減少すると推計されている。 ○最新の三師統計では、市内の人口 10 万人当たりの医師数は増加傾向にある一方、県全体では減少している。 ○令和 7 年度の鹿行保健医療圏からの医師派遣要望に対しては、ゼロ回答であった。 ○医師派遣要請以外の医師配置についても、医師不足地域への配置は進んでおらず、地域偏在は是正されていない。 ○医療圏ごとの県修学生医師の配置状況について共有が行われ、市内に基幹型臨床研修病院が存在しないことが課題として挙げられた。 ○市修学生については、今年度、新たに医学生 1 名へ修学資金を貸与予定である。一方、近年は看護師向け市修学資金の申込者数が減少している。 ○神栖市の患者推計データについて、入院患者は高齢者人口の増加に伴い、2040 年度まで延べ患者数の増加が見込まれている。外来患者についても、2045 年度まで増加が見込まれている。

	○令和 7 年度補助事業の国および県による「偏在是正総合パッケージ」については、今月以降に事業対象となる医療機関へ、通知が行われる予定であると茨城県から説明があったことを共有した。 ○重点医師偏在対策支援区域における医師への手当増額支援については、令和 9 年度に詳細の共有、令和 10 年度に実施予定とされており、詳細が判明次第共有する予定である。 ○茨城県医師確保計画における修学生医師数の推計では、2036 年度まで多くの医師が養成される見込みとなっている。一方国では、地域の実情等に配慮しながらも、医学部臨時定員を削減する議論も進められている。
医療政策の主な取組内容について	○准看護師養成支援費補助金：今年度より新設 ○外国人患者受入体制整備：医療機関等へ実態調査の協力を依頼 ○メルカリ、鹿島アントラーズとの包括連携協定：令和 8 年度からは白十字看護専門学校において「メルカリ」による授業を新たに追加 ○地域医療トーク＆トーク：外国人と医療者の座談会と共同開催として 8 月頃に開催予定。 ○看護職合同進学・就職相談会：9 月 26 日（土）に開催 ○熱傷・薬傷症例検討会：10 月 8 日（木）18:00 から開催 ○小児診療体制に係る意見交換会：年内に開催予定。小児救急体制見直し 2 年目 ○医療教育：今年度も継続。小学校 3 校で実施予定。

イ 事項 2

（1）高齢者補聴器購入費助成金交付事業について（説明／津賀課長補佐）

- 事業概要、対象者、助成内容、申請手続きの流れ等に関する説明を行った。
- 本助成制度については、令和 7 年度末時点で県内 14 市町村が実施しており、鹿行地域では神栖市のみが導入していることが報告された。

（2）予防接種事務のデジタル化について（説明／山下課長補佐）

- 令和 8 年 2 月 25 日に市内医療機関向け説明会を開催したことを報告するとともに、説明会以降に変更となった事項や、新たに判明した内容について説明を行った。

(2) 意見交換

ア 神栖市医療データ（主な死因と死亡比）について

- 地域における疾病死亡率の高さを踏まえ、「患者や疾患をいかに早期に発見・把握するか（健診受診率の向上や健康意識の改善）」に向けた具体的な協議を求める意見があった。
- 医師の確保や育成も重要であるが、それ以上に「患者や疾患を早期に拾い上げ、神栖（鹿行）内で医療を提供できる環境づくりの視点の議論が不足している」との指摘があった。

イ 健康診断受診等について

- 健康診断の受診促進、生活習慣病予防の啓発、住民の医療リテラシー向上が不可欠であり、住民自身が主体的に健康管理を行うことで、初めて死亡率低下につながるとの意見があった。
- 神栖市内の会社員等における健康意識や健診受診率の低さが課題として挙げられ、今後の医療の柱となる「予防医療」の推進に向け、行政によるより積極的な対応を求める意見があった。
- 未受診者への受診勧奨の必要性が指摘され、出席者からの意見を踏まえ、神栖市に対し「がん検診への対応」および「脳血管障害対策」について、次回会議までに具体的な方針を整理するよう要請があった。
- 当地域には、必ずしも健康維持を人生の最優先と考えない住民や健康診断を敬遠される方々が存在すると指摘があり、健康意識の向上は強制ではなく、長い年月をかけて地域文化として醸成していく必要があるとの考えが示された。

神栖市のがん検診受診率について

- 胃がん検診をはじめ疾患死亡率減少を目的とする対策型検診導入の議論が必要との意見があった。
- 神栖市のがん検診受診率はどの程度かとの質問があった。

【回答（健康増進課）】

- 神栖市の住民健診における各種がん検診受診率について、茨城県平均との比較を報告した。県平均を上回る項目も多い一方で、全体としては依然として低い水準にある現状を説明。

神栖市における小学校健診について

- 全国の一部の自治体では、小学校の健康診断において、胃がん予防を目的としたヘリコバクター・ピロリ菌検査や、将来の脳血管障害等のリスクを見据え、採血による高脂血症（脂質3項目）の検査などを導入する事例が見られるが、神栖市における小学校での導入状況について質問があった。

【回答（健康増進課）】

- まだ、導入についての検討にはいたっておりません。

ウ 喫煙について

- 神栖市における妊産婦や家庭内での喫煙率の高さが、将来世代へ悪影響を及ぼす懸念について問題提起があった。
- 行政側からは、県平均を上回る市内喫煙率の具体的数値と、現在の取り組みおよび課題認識について説明があった。

【回答（健康増進課）】

- 特定健診（40～74歳）における喫煙率
 - ・男性：県平均 21.7% / 神栖市 25.9%（県平均を上回る）
 - ・女性：県平均 5.3% / 神栖市 7.8%（県平均を上回る）
- 喫煙対策の取り組み
 - ・希望する小中学校において「喫煙予防教室」を実施し、健康被害や喫煙の断り方等について指導している。
 - ・市民向けには、特定健診会場等における禁煙知識の普及啓発や禁煙外来の紹介を実施している。

エ 診療所開業支援制度の概要について

【回答（地域医療推進課）】

- 制度概要について説明。これまでに7つの診療所が本制度を活用して開業したと報告。
- 対象は医科診療所（医師）のみであり、現時点では歯科診療所は対象外であると説明。

オ 歯科医師・歯科衛生士不足について

- 歯科医師のみならず歯科衛生士も不足しており、診療所運営や地域支援活動の維持が困難になっている現状が共有された。
- 看護師等への支援と同様に、歯科医師や歯科衛生士に対する確保・開業支援についても検討を求める意見があった。

【回答（地域医療推進課）】

- 国では「医師の偏在是正に対する総合パッケージ」により診療所の開業・承継支援を進めているが、茨城県が当該制度を採択していないため、市としては国の制度の恩恵を受けられていない状況であると説明。
- また、歯科医師および歯科衛生士の確保について県へ確認したところ、「現時点では県として十分な課題認識に至っていない状況である」と報告があった旨を共有。
- 今後、神栖市として茨城県に対し、歯科人材不足への支援や対策を要望していくと説明。

カ 医療教育について

- 学校における医療教育に歯科分野を取り入れないのかとの質問があった。

【回答（地域医療推進課）】

- 医療教育の対象校に対し、歯科分野を盛り込む提案は既に行っているが、現時点では学校側から具体的な実施要望は出ていないと説明。

キ 小児救急医療について

- 令和6年度から小児救急医療体制を見直したことについて、「本来あるべき体制に戻ったものであり評価している」との意見があった。
- また、「現行体制を維持するため、今後も協力を惜しまない」と市内診療所医師から発言があった。

ク 救急医療について

- 消防本部から、神栖市では人口比に対して急性心筋梗塞および脳梗塞による死亡率が約2倍と高いことが報告され、これらの数値を低下させることが最重要課題であるとの意見があった。
- これらの疾患は迅速な対応が求められるため、死亡率の高さと「搬送時間」や「搬送先（死亡場所）」との関連について分析が必要であり、市としてさら

に踏み込んだ検証を行うことで、必要な医療体制や救急搬送体制の改善につながるのではないかと提案があった。

○また、医師数の確保だけでなく、疾病予防、発症時の治療体制、適切な医療機関への迅速な搬送（心筋梗塞は発症後２時間以内の対応が重要とされる）を含めた総合的な分析が必要との意見があり、消防長を含む現場関係者の意見を踏まえながら対策を検討していくこととなった。

○本件については、地域医療推進課における今後の検討課題とされた。

以上

令和8年度 神栖市地域医療体制に係る意見交換会 出席者名簿

令和8年5月13日（水）19時～ 研修室

○出席者

（順不同、敬称略）

No	所属等名	役職名	氏名	会場	WEB
1	茨城県立中央病院	名誉院長	永井 秀雄	●	
2	鹿島医師会神栖支部	支部長（野口医院院長）	野口 英一	●	
3	神栖市歯科医師会	会長（新扇歯科医院副院長）	鈴木 伸之	●	
4	潮来薬剤師会	会長（田辺薬局潮来店）	橋本 博幸	●	
5	潮来薬剤師会	神栖班・班長（あやめ薬局神栖店）	八木 宣佑	●	
6	鹿嶋ハートクリニック	理事長	黄 恬瑩	●	
7	神栖済生会病院	院長	金沢 義一	●	
8	白十字総合病院	院長	鈴木 善作	●	
9	いきすの森クリニック	副院長	石橋 美生	●	
10	かしまなだ診療所	院長	林 俊治	●	
11	かみす消化器内視鏡クリニック	院長	坂田 義則	●	
12	神栖メディカルクリニック	院長	長島 英一	●	
13	小沢眼科神栖診療所	院長	戸田 和重	●	
14	済生会土合クリニック	所長	田中 久已彦	●	
15	城之内医院	院長	城之内 宏至	●	
16	しょうのこどもクリニック	院長	庄野 哲夫	●	
17	すずきクリニック	院長	鈴木 洋輝	●	
18	東部地区健康管理クリニック	支部長補佐	勝西 雅也	●	
19	永木外科胃腸科医院	院長	永木 弘和	●	
20	にへいなかよしクリニック	院長	二瓶 実	●	
21	ふかしばこどもクリニック	医師	太田 康博	●	
22	宝山ハートクリニック	院長	籠島 彰人	●	
23	牧医院	院長	牧 晴美	●	
24	武藤小児科医院	院長	武藤 隆雄	●	
25	鹿島地方事務組合消防本部	消防長	細谷 昭広	●	
26	鹿島地方事務組合消防本部	メディカルアドバイザー	鶴岡 信		●

25

1

○随行者

No	所属等名	役職名	氏名	会場	WEB
1	鹿嶋ハートクリニック	事務長	生長 賢二	●	
2	神栖済生会病院	事務部長	江寺 隆広	●	
3	白十字総合病院	事務部長	礪部 晃彦	●	
4	かしまなだ診療所	事務長	五木田 みか	●	
5	神栖メディカルクリニック	経営企画室長 副院長	長島 雄次	●	
6	小沢眼科神栖診療所	事務長	渡邊 隆光	●	
7	宝山ハートクリニック	理事長補佐官	高宮 椰弘	●	
8	鹿島地方事務組合消防本部	救急救助課 課長補佐	西宮 哲之	●	

8

0

○神栖市

No	所属等名	役職名	氏名	会場	WEB
1	神栖市	市長	木内 敏之	●	
2	神栖市	健康増進部長	岡野 雅文	●	
3	神栖市	福祉事務所長	猿田 幸助	●	
4	神栖市	健康増進課長	野口 和美	●	
5	地域医療推進課	課長	吉川 徹	●	
6	地域医療推進課	課長補佐	大槻 浩万	●	
7	地域医療推進課	係長	増田 麻帆	●	
8	地域医療推進課	係長	荒沼 史昭	●	
9	地域医療推進課	主幹	胡田 大介	●	
10	地域医療推進課	主事	石津 寿奈美	●	
11	地域医療推進課	主事	桐井 大翔	●	
12	健康増進課	課長補佐	山下 陽平	●	
13	長寿介護課	課長補佐	津賀 勇人	●	

13

0